郷の集い

発行
新郷小学校ＰＴＡ
学級委員会
編集責任者
西　正　五太夫
印刷
久野印刷㈱

心のお年玉に思う

学校長　伊藤政昭

飽食の時代とか、満ちた時代とか、また別の時代考証の中では、不透明・不確実の時代とも呼称される今日、真実のものを見つけにくく、また判断しにくい時代とも言えます。

さて、このような時代の中に生きている子供の現状はどうでありましょう。

四月に赴任以来、幼稚園から六年生のお子様まで、私なりに様々な機会を通して見て参りました。最近では、声を聞くと、その幼児児童の氏名だけでなく、性格も写し出されてくる今日です。大人と子供が話題を通じてコミュニケーションがなされます。

その中で、社会の変化の事実を知ることが子供から発見できます。それは、金銭的感覚が大人的計算や、発想であること、さらに、「大人子供」的人間観です。

社会の大衆化、現代化とよばれる中で、いつしか見ているテレビの影響が、子供と大人の限界を超え、大人的な錯覚に陥り、自分を理解するようになります。

経済的に満ちたりている今日の子供社会は、学習から遊びまで、何不自由なく希望が入れられ、学習も金で習得し、遊びも金で得た遊具にて終わります。

お年玉も、親、祖父母、伯父、伯母と親類同士が与えるので、萬と言う単位に達します。貯金をすればよい、自分の設計にしたがって自主的にやることでよいと言う、子供社会での判断を超えています。親も教師も時代はともあれ、子供に与えるものの限度と、与えるものの意義それは、心のお年玉であることを今一度考えなおして見ることが大人の判断と思いますが。

さて、話は少々変わりますが、私の学校で、今なにかを始めようとしています。

それは、時代に生きる教育を求めています。今日的社会がどんな人間を求めようとしているのか、また、どう子供に学校の重要さを知らせるかであります。新しい時代に生きる子供たちに、生きると言うことがどんなにすばらしいことであるかを、知らせる教育を求めようとしています。

園や学校に、明日も行きたい、そして、自分のいる存在が学校にとって、友達にとって、とても大切だと思わせてやりたい教育を私は探っています。それは、遠い道程かも知れませんが、学校は大人のものでなく子供のものであることを、今一度考える、そんな気持ちが今の自分であります。

卒業生の御両親へ

ＰＴＡ会長　北川　恒夫

御卒業おめでとうございます。御両親もさぞお喜びのことと思います。心からお祝い申し上げます。六年間の長い小学校生活も終わり中学校へ進むことになりますが、しかし親にとっては新たな心配が始まります。

それは社会問題となっている非行、いじめ、登校拒否の問題です。うちの子もそのようなことになりはしないかと心配な向きもあるのではないのでしょうか。しかし心配しても誰もが一度は通る道であります。

いかに親がその時期を通り越すかということで、そのため親は常に子を観察しどのように指導していくか考えなければなりません。

先般、父親学級において講師の中山先生の教えの中で、親は今、子がどういう時期なのか認識しなければ子に対応できないと述べるとともに丁度子供から大人への過渡期、それは六年生より中学生にかけてであり、子供にとってまさに不安と動揺の時代であり、その理由の一つは急速な身体の発育と体格の大きな変化である。つまり女子の身体的変化、男子の声変わり等これらは子供にとって驚きであり、何か自分でないように思え不安がつのります。そういう時期に親や周囲の人々は小学生とは違って言動に対して、もう子供じゃないのにいつまでも子供ぽいと言ったり、まだ一人前じゃないのに大人の真似なんかしてと叱ったりします。子供でもなく、大人でもないのがこの中学生の時期であり、つまり社会的には子供でも大人でもない不安定な位置におかれていることを親達は認識しなければならないと先生は説明されました。

したがってこの時期の子を指導するにあたっては、時には子供としての扱いをし、あるいは大人としての扱いをしなければならないと教示され、なるほどと感心いたしました。私達親はややもすると仕事におわれ子供に接することの少ない今日、親として子への言動に注意を払い子供が立派に成長するよう温かい気持ちで見守ってやりたいものです。

交通安全母の会について

会長　坪田　洋子

交通安全の会合に何度か参加していつも聞く事ですが「交通安全は明るい家庭から」と言っております。「安全」と言う事は安らかで危なくないと言う意味で、それは人間社会における多くの人々の願望だと思います。最近テレビを見ても新聞を見ても危険な事ばかりが目に付き、中でも必ず一番大きなウエートを示しているものは交通事故です。交通事故と火事は人災だと聞いた事が有りますが、交通に対する安全は今や私達の日常生活に深く入り込んできました。「家庭は小さな社会」であり世代に合ったひとり一人が、歩行者、自転車の乗る側、あるいは運転者の立場となりそれぞれが毎日の体験等を取り入れた対話のある家庭で子供が学ぶ知識が必要だと思います。私も数年前交通事故で実父を亡くしました。いつも私の顔を見るたびに「車に気を付けろ」と言っていた父がよもや交通事故に合うとは夢にも思いませんでした。今までは私も交通事故と言うと他人事のように思っておりましたが、あまりにも身近に起こった事と、初めて交通安全母の会の役員になり非常に交通事故に関心を持つと共に、もっとひとり一人が交通ルール、知識、交通安全に対する意識を高める必要があるのではないでしょうか？私も皆様方のご協力御指導によりやっと一年が過ぎましたが、これからも皆様方のあたたかい御指導、御鞭撻のほどを宜しくお願い致します。

熱い友情

高戸　俊成

あっという間の6年間、もう卒業はあとわずかだ。今年は、修学旅行、自然教室、スキー教室などいろいろなことがたくさんあった。
　卒業するのは悲しい、でも勉強、部活などいろいろなことがある。ぼくは、中学校でいろいろなことをやりたい。部活ではサッカーをやりたい。

山田　勝

いよいよ、六年間の小学校生活も終わり、念願の中学生になる。
　小学校では、キャンプ、修学旅行と、いろんなことがあった。でもあっと言う間に六年間が過ぎてしまった。
　中学に入ったら勉強もがんばりたいし、部活でも一生けん命がんばりたい。
　小さい学校だったけど、決して忘れないだろう。

白崎　一誠

この六年間には、いろいろなことがありました。楽しかったことの方が多いです。
　特に、六年生になってからは、修学旅行、キャンプ、自然教室、スキー教室などにいって、みんなと遊べてとても楽しかったです。
　中学に行ったら新しい友達をつくって、スポーツや勉強にがんばりたいと思います。

野内　道雄

やっと小学校を卒業します。
　中学になると部活や勉強がたくさんあり、小学校よりたいへんだと思いますががんばりたいと思っています。そして、友だちをたくさんつくって、協力し合ってたがいに助け合おうと思っています。これからは、のんびりしてられなくなりそうな気がします。

植田　勇人

この六年間とても楽しかった。いろいろなことがあった。つらかったこともあったけど、みんなと仲良くなれてよかった。ぼくは中学に入っても忘れない。集会のときに、みんなで歌ったり、おどったりした。とてもいい思い出になった。
　中学校に行ったら今よりもきびしいだろうけど、がんばりたい。

藤山　寿恵

あっという間に、小学校生活を終わろうとしています。苦労した事、楽しかった事たくさんの思い出があるのに、今までの六年間に何もなかったような感じです。だからこの学校での思い出を胸いっぱい作りたいけどもう卒業します。
　中学校生活では、何事にもたえようと思っています。勉強、スポーツ何でも、やりとげてみます。

青木　利恵

楽しかった六年間。
苦しかった六年間。
　一年生から六年生まで、二十名の友達と過ごした事。
楽しかった自然教室、スキー教室、修学旅行。
　苦しかった、つらかったフットベースボールの練習、水泳、鼓笛訓練。
　中学へ行けば、楽しかった事も、苦しかった事も、つらかった事も、みんな良い思い出になるだろう。

吉江めぐみ

六年生になっていろいろな出来事がありました。うれしい事、悲しい事。どんなにがん張ってもこの六年間で出来なかったこと。
　中学校生活への希望は私にとって大きなものです。「卒業」は悲しいですが、中学へのスタートを大切にしてこれから第一歩を歩いていきたいと思っています。

中山　佳美

もうすぐ卒業だなぁ。小学生活も、もう終わりに近づいている。楽しい思い出、悲しい思い出がたくさんある。部活やクラブを何にしようか、迷っている。中学になると友達と別れ別れになるので、もう会えないかも知れない。友達と放れたくない。
　中学になったら、今以上に勉強にスポーツにがんばろうと思っている。

東　さおり

小学校生活も終わりに近づいてきました。この六年間をふり返ってみるといろいろなことがありました。遠足や運動会、楽しいことばかりでした。ときには苦しいことがあったけど、今は、「こんなことも、あったんだな。」となつかしく思います。
　校長先生、山口先生、その他の先生にとてもお世話になりました。

自信をもとう

山口　達男

六年生のみなさん、卒業おめでとう。共に過ごした二年間は、本当に楽しいものでした。
　この新郷小学校を卒業することに誇りと自信を持って下さい。私は、比較的大きな小学校を卒業しました。だからと言っては何ですが、トランペットも吹けないし、水泳や陸上やサッカーの選手にも選ばれたことがありません。また、キャンプもなかったし、スキー教室もありませんでした。ところが君達はどうです。あらゆることが出来たではありませんか。それも立派に。言い換えると、君達は何でも出来る力を持っているということです。これも新郷小学校であったからこそ、と思います。
　これからは、今の力を土台にして、さらにいろいろな事に挑戦し、自分の道を切り開いて行って下さい。何もしなかったと嘆くより、失敗を悔やむ方が私は好きです。
　君達の中学校での活躍を心から期待しています。

希望の旅立ち

高戸　喜和

ぼく達の五、六年の担任は山口先生でした。初めての、授業は、とてもきん張したけど、やさしく授業をしてくれた。先生は、二年間一緒に勉強したり、遊んだりしてくれた。ぼくらは、めぐり会って本当に、よかった。中学校へ行っても、こんな先生にもってもらいたい。本当にありがたいと、思っている。

吉江　公雄

この六年間に、いろいろなことがあったけど、六年生になってあった行事が、一番楽しかったです。

修学旅行の時は、みんなでとまって、遊んだので、とてもおもしろかったです。

自然教室は、新しい友達がいっぱい出来たので、うれしかったです。

中学に行ったら、勉強に部活にがんばろうと思います。

西正　尚弘

この六年間はとてもたのしいものでした。とくに六年生の時は、春に修学旅行、夏にはサッカー、ソフトボールやキャンプ、秋には、自然教室、冬には、スキー教室など本当にいろいろなことがありました。授業中は、少しふざけていたけど、よく分かりました。

中学校へ行っても、スポーツや勉強にがんばろうと思います。

白石　憲治

中学に行ったら、勉強にがんばりたいです。そして、自分に合った部に入り、一生けん命はげみ、早くレギュラーになれるように努力したいです。そして自分の希望する高校に入れたらいいなと思います。みんなに変なこと言われても気にせずがまんします。先生方にはいろいろお世話になり、本当にありがとうございました。

北川　幸治

もう少しで、小学校生活が終わります。

あと一歩で念願の中学校、中学校生活の中には、楽しい事もあるだろうが、苦しい事がいっぱいあるだろう。でも、その苦しい事などを乗り越えて、勉強や部活でがんばりたいと思う。

いろいろな思い出を作ってきたこの新郷小学校をいつまでも忘れないようにしたい。

堂島　隆幸

ぼくは、この六年間にいろんな事を学び、スポーツなどやってきました。修学旅行やキャンプなどにも行き、楽しく過ごせました。中学に入学したらいじめられたりするかもしれませんが、ぼくは、負けずにがんばります。部活はサッカーと決めています。中学に入ると勉強・部活と苦しいかもしれません。でも、一生けん命やり、がんばります。

三上　敦子

今、六年間をふり返るといろいろなことが思い出されます。一年生から六年生までの遠足、スキーなど、たくさんの楽しい思い出があります。また、今年はとてもよい思い出が出来ました。フットベースボール大会「優勝」というすばらしいこと、中学生になっても今までのことを思い出しながら、二十人全員ががんばれたらいいと思います。

岡田　淳子

六年間なんてあっという間。本当に六年も過ごしてきたのかなと思うくらいです。

去年は、鼓笛の指揮者をやらせてもらったり、郡の陸上記録会でも入賞できました。水泳もがんばりました。習字でも今年初めて席上に行きました。六年間でいろいろな経験をしました。友達もたくさんできました。自分の実力を発揮して中学でもがんばります。

西正　晃子

私がこの学校に入学して来た時の事は、今でも覚えている。入学式の時、たくさんの人達に囲まれ、不安でいっぱいだった。そんな何も分からない私達に、いろんな事を教えて下さった先生方。そして、いろんな出来事で、悲しんだり、苦しんだり、楽しんだりして心も体も成長した私。立派な先生方に見守られ、二十人の楽しい仲間と過ごせました。

山崎めぐみ

この小学校生活で、一番うれしかったことは、六年生の時の夏、フットベースボールで優勝したことです。優勝した時は、こらえきれないほどうれしいでした。

中学校に行っても、勉強にスポーツにがんばろうと思います。そして、くじけそうになった時、先生にはげまされた言葉や、小学校生活での楽しかった事を思い出して、がんばろうと思います。

卒業生の皆さんへ

八十嶋　早苗

二十名のみなさん、もうすぐ卒業ですね。背の高さも体の厚さも、中学生としてはずかしくありません。ほんとうにおめでとう。

ところで、心の準備の方もできているでしょうか。悪いと分かっていてもついやってしまう、弱い心のままではありませんか。人にたよってしまう、甘えた心はありませんか。四月の入学までの間に、もう一度、自分の心の中を振り返ってみてほしいのです。自分の行動を自分で決められる、また、自分の行動に責任のもてる人になって下さい。

私が、この学校で初めて受け持ったあなたたち。担任を放れても、いつまでも担任でいるような気がして、そのつもりでつき合ってきました。

大人になってクラス会を開くとき、八十嶋もよんで下さい。そしてみなさんの子どもの自慢話でも聞かせて下さい。楽しみに待っています。

新郷　この一年

春の遠足

三年　木嶋　純一

春の遠足は、西山公園へ行きました。

しばらく歩くと動物園がありました。みんなは、レッサーパンダのいるおりへ集まってきました。名前はシューシュー、ケイケイ、パンパンでした。レッサーパンダが動くと、みんなもいっしょに動いていました。レッサーパンダは、みんなの声がうるさいのか、あっちこっちと落ちつきませんでした。レッサーパンダは木に登るのがすきなんだなあと思いました。

動物園が見終わると、下の広い所でおべんとうを食べました。みんなで食べたのでおいしかったです。

その後、三年の男で野球をしました。ぼくは守りになったけど、ボールを取るのはむずかしかったです。

つつじの名所と聞いていたけど、三本ぐらいしかさいていなかったのでざんねんでした。

楽しい遠足でした。

楽しかったキャンプ

四年　西正　真琴

ウォークラリー、はんごうすいはんも楽しかったけれど、わたしが一番楽しみにしていたのは夜の自由時間です。

夜になったら少し雨がふってきたけど、キャンプファイアーのほのおをずっと見ていたら、雨がふっているのを忘れてしまいました。

もえている木の中からはかぶと虫が出てきました。

先生は、

「かぶと虫はあつくて出てきたんだ。」

と、言いました。あつくてはなれていたら、火花が飛んできれいでした。

キャンプファイアーが終わっても雨がふっていたので、尚弘君たちが、みぞをほってくれました。

わたしの頭をだれかがたたいたので、尚弘君のはんの人をたたいたりしていたら、十二時になってしまいました。

だから帰りのバスの中では、ぐっすりねていました。

うんどう会

二年　三上　泰代

きょう、学校でうんどう会がありました。

入場門から、こうしんをしました。ちょっと、きんちょうしてしまいました。

つぎに、八十mそうをしました。全校が走りました。ようちえんも走りました。わたしは、二とうでした。江畑くんには、かてませんでした。

びっくりフェイスは、白組がかちました。

わたしは、白組です。

「バンザイ。」

と、いいました。白組は、校長先生で赤組は教頭先生の顔の絵ができました。

リレーは、女も男も白組は、まけてしまいました。とってもくやしかったです。

お天気は、晴れになったり雨になったりしました。

点数は、赤組が、六五八点で白組が、六五九点で一点さで白組がかちました。

「バンザイ。」

と、大声でさけびました。

待ちに待った修学旅行

六年　吉江めぐみ

待ちに待った修学旅行の日が来ました。この日をずっと待っていて、その日がやっと来たのです。私だけでなくみんなもこの日を待っていたと思います。

私が一番感動したのは、やはり大阪城や奈良の大仏でした。

大阪城は、昔の古い歴史をそのまま残して来たと思います。大阪城を見て、もっと大阪城の古い歴史が知りたくなってきました。あの美しい風景は一生忘れられないと思います。

大阪城のような美しい城が私たちの住んでいる近くにもあってほしいと思いました。

二日目に行った奈良公園では、とても大きい大仏も見れました。国の乱れを少しでもしずめるために作られたと聞きました。その願いのとおり、とても大きい大仏でした。

最後の日。私は「修学旅行」にきてよかったと思いました。

じょうずなおばあちゃん

一年　にし正はるこ

二学きにそふぼ学きゅうがありました。おおぜいの人がきました。

はじめ、おばあさんとお手だまをしました。おばあさんが、

「はるこ、お手だまできるの。できないのなら、おばあちゃんのをよくみていなさいよ。」

といいました。わたしは、おばあさんのをみていたら、お手だまをまわすの

が早いので、目がまわってしまいました。おばあさんが、
「つぎ、おまえやってみなさい。」
といいました。わたしは目がまわってしまったのであまりじょうずにできませんでした。なんかいも、れんしゅうしたけど、ゆっくりしかできなくて、たまがおちてばかりいました。

　またおばあちゃんとしてこんどはしっかりみといてじょうずになりたいなあとおもいました。

スキー教室
五年　東　純子

　二月五日木曜日「スキー教室、楽しみだね。」とみんなの声が聞こえた。わたしも、スキーなんて初めてなので、楽しみでした。

　バスで二時間、やっと奥越青少年自然の家に着きました。先生達にいろいろ話を聞いてからお弁当を食べて、その後スキー教室が始まりました。くつは重くて歩きにくかったです。スキー板も長くて持ちにくかったけど、先生達は軽々持っていました。スキー板をはいたとたん、すべり落ちそうになってびっくりしました。それからまっすぐにすべるやり方を教えてもらいました。止まるのがなかなか出来なくて、つっこむかころぶかだったけど、しばらく練習したので少しうまくなりました。でもと中で頭からころんで雪だらけになりました。慣れてきたのでみんなでリフトに乗りました。でも坂が急だったので、と中から少し板をはずして歩いてしまいました。

　四時ごろ自然の家に帰りました。夕飯は、お腹もすいていて、とてもおいしかったです。お風呂に入りスキーのビデオを見て、自由時間になりました。おかしを食べたりトランプをしたりしました。

　十時になってふとんに入ったけど、みんなで明日の話をしていて、なかなかねむれませんでした。二日間のスキー教室は、よい体験をしました。

学校生活から

築山をありがとう
幼稚園　中西美恵子

　幼稚園の園庭には、大きな築山があり、子供の大好きな遊び場の一つです。

　この築山は、夏の奉仕作業で汗を流して作業していただいたものです。おかげで登園時や降園時に一回は登らないと気がすまない子もいるようです。又この築山はいろいろな活用がされています。かけ登ったり降りたりするのはもちろんのこと、自分で作ったいろいろな自動車を走らせたりして大喜びでした。冬の日だって五センチメートルくらいの雪があるとかっぱズボンをはいてころがったり、すべったりです。でもみんながすべりたいのですから、いくら雪を補ってもすぐ土が顔をのぞかせどろんこになってしまいます。冷えた朝は霜柱の山になり太陽できらきら光り、子供達がそれにみとれ玄関になかなかはいって来ない日もありました。このようにどんどんあそびが広がっていくすてきな山です。ありがとうございました。

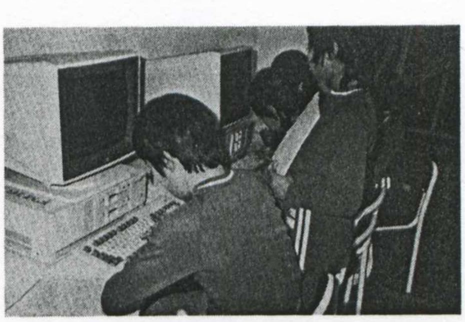
コンピュータ
清水　誠

　本校では、昨年十月から七台のパソコンを借り受け、新しいメディアを利用した教育に取り組んでいます。

　今日の急激な社会変化の中で生きる為には、生涯学び続けることの出来る力が必要だといわれています。そこで、一人ひとりの子どもが、自分の個性に合った学習を進められる様に、パソコンや他のメディアを活用しようと考えています。

　本年度は準備段階として、二年の算数、四年の理科の授業に利用しましたが、パソコン学習は面白くてよく分かると、子どもには大変好評でした。また休み時間には、一年生から六年生までが、奪い合う様にして、漢字や算数のドリル問題に挑戦しています。

　何の抵抗もなくパソコンに慣れ親しんでいる現代の子どもたちの実態を踏まえて、新しい時代にたくましく生きることの出来る力を身に付けさせたいと願っています。



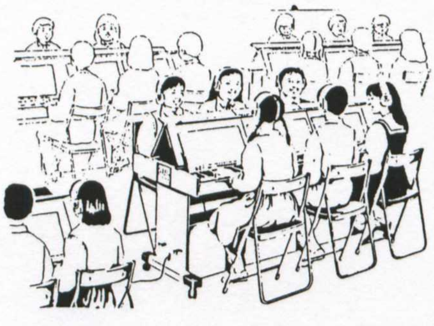
アンサンブルオルガン
藤井さち江

　緊張の一瞬、カチャ、笛が落ちる。大事なところで音がでないオルガン。昨日まで盛り上がってきた練習。今日はその発表の日でした。彼等は失敗ばかりしていました。でも、目ばかりは真剣でした。

　かねてから、私は音楽は音我苦には絶対したくない、みんなが楽しく授業に参加でき、個々を生かす授業にしたいものだと思っていました。いろいろ工夫して、他の子の陰で甘んじている子がいない様、気をつけていましたが、やっぱり、ML、又は、それに代わる物があったらと考えていました。その考えに合った楽器、アンサンブルオルガンが出てきていたのです。去年一度、楽器屋さんでお借りして、子供達も使ってみたのですが、大人気でした。ひいている子も、聞いている子も楽しそうでした。色々な音色がでて、それを六人で、それぞれ違うパートを受け持って一つの曲にします。六人が助け合って、自分のパートをしっかり受け持たないと曲にならないのです。

　それが遂に買っていただけたのです。オルガンが入って、寒いのにもかかわらず、子供達は熱心でした。自発的に練習しました。ヤマハからの先生も感心するくらいでした。

　今は、まだ一台ですが、これからの授業に大いに活用したいと思っています。



昭和六十一年度 輝く栄光

第33回県小学校写生大会
特選　三年　吉江喜代子

芦原町　水泳大会
五男　二五m自由型
三位　青木　純治　一八・三
五女　二五m自由型
二位　東　純子　一八・九
六男　二五m自由型
二位　北川　幸治　一八・五
三位　高戸　喜和　一九・二
六女　二五m自由型
二位　山崎めぐみ　一八・七
五女　二五m背泳
一位　東　純子　二三・五
三位　岡崎真智子　二六・四
五女　五〇m自由型
二位　林　亜寿香　四五・六
三位　東　純子　四五・九
五女　五〇m背泳
二位　岡崎真智子　五八・八
五女　一〇〇mリレー
二位　一・二六・四
林　亜寿香、吉江麻衣子、
東　純子、岡崎真智子
四女　二五m自由型
一位　林　亜寿香　一九・三

芦原町相撲大会
個人戦二年優勝
江畑　尚幸

芦原ゆのまち綱引大会
ジュニアの部　優勝

芦原町フットベースボール大会
優勝　新郷小学校

フットベースボール大会

西正　晃子

「おねがいします。」で始まった、フットベースボール大会。不安ときん張でいっぱいだった。夢中で試合をし、ほかの事など、目に入らなかった。とても長い時間のように感じられた。

「ありがとうございました。」三試合を終わった時の声は、喜びでいっぱいだった。優勝した時の喜びは、忘れないだろう。練習についてきてくれた二十四人の仲間に感謝している。

夏休み理科作品コンクール
植物採取の部
銀賞　四年　白崎いづみ
銅賞　五年　高橋　将義

読売新聞紙上書道展
三席　五年　岡崎真智子

競書会入選者
会長賞　五年　岡崎真智子
特　選　一年　西正　治子
二年　原田　絹代
三年　山口　好美
三年　白崎　益代
四年　林　亜寿香
四年　青木　里枝
五年　高橋　将義
六年　青木　利恵

芦原町陸上記録会
一〇〇m走
四年女　三位　西正　真琴
六年女　三位　吉江めぐみ
四〇〇mリレー
四年女子　三位
西正　真琴、林　亜寿香、
木内　美希、白崎いづみ
五年男子　二位
吉江　成司、篠崎　祐祥、
高橋　将義、青木　純治
六年女子　三位
岡田　淳子、吉江めぐみ、
西正　晃子、東　さおり
四女　走幅跳
一位　西正　真琴　三・一七
六女　走幅跳
三位　岡田　淳子　三・五七
五男　走高跳
二位　篠崎　祐祥　一・一五
六女　走高跳
一位　西正　晃子　一・一七
四女　ボール投げ
三位　林　亜寿香　二九・二四

県幼児画コンクール
幼稚園　佳作
みかみ　ひろあき
しのざき　よいつ

中日新聞書道
特選　二年　岡崎　伊浩
四年　林　亜寿香
五年　岡崎真智子
六年　西正　晃子

アイデア貯金箱コンクール
会館賞　三年　三上　聡巳
局長賞　二年　小嶋　徹子
五年　高橋　将義

年賀はがきコンクール
銀　賞　四年　吉江亜由美
四年　木内　美希
五年　高橋　将義

研修旅行

学級委員会
西正　五太夫

この度、御卒業される皆様、おめでとうございます。学級委員として一年間、お世話をさせていただきまして、父親参観日以外ほとんど学校へ行く事もなかった私ですが、おかげさまで先生方はじめ御父兄の皆様方と親しくお話をさせていただけた事を、深く感謝しております。郷の集いの発刊、研修旅行等、一年間があっという間に過ぎてしまった様です。多数の参加で行われました研修旅行もあいにくの雨で、バスの中での親睦旅行になってしまいました。普段話し合う事の少ない私達にとって、これも又楽しかったのでは、ないかと思います。

最後に、これからの研修旅行のあり方については、PTAの皆様方と検討を重ねていきたいと思っております。

古城をおとずれて —彦根城—